

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】 特開 2006-153819 (P2006-153819A)
 【公開日】 平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-023
 【出願番号】 特願 2004-348938 (P2004-348938)
 【国際特許分類】

G 0 1 R 31/36 (2006.01)
H 0 1 M 6/50 (2006.01)
H 0 1 M 10/48 (2006.01)
H 0 2 J 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 31/36 A
 H 0 1 M 6/50
 H 0 1 M 10/48 P
 H 0 2 J 7/00 X

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 11 月 21 日 (2007.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

電源から電力を供給して実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するに際して、
 第 1 の擬似負荷手段と、前記第 1 の擬似負荷手段より消費電力が大きく且つ前記実負荷手段の消費電力に近い第 2 の擬似負荷手段とを用い、
 前記電源の電圧を測定するステップと、
 前記電源の電圧の測定の結果、前記電源の電圧が所定値より高い場合には、前記第 1 の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測し、前記電源の電圧が前記所定値以下の場合には、前記第 2 の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するステップと
 を含むことを特徴とするバッテリーチェック方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 2 0】

電源から電力を供給して実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するに際して、
 第 1 の擬似負荷手段と、前記第 1 の擬似負荷手段より消費電力が大きく且つ前記実負荷手段の消費電力に近い第 2 の擬似負荷手段とを用い、
 前記電源の電圧を測定するステップと、
 前記電源の電圧の測定の結果、前記電源の電圧が所定値より高い場合には、前記第 1 の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測し、前記電源の電圧が前記所定値以下の場合には、前記第 2 の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するステップと

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明のバッテリーチェック装置は、電源から電力を供給して実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するものであって、前記電源の電圧を測定する電圧測定手段と、第1の擬似負荷手段と、前記第1の擬似負荷手段より消費電力が大きく且つ前記実負荷手段の消費電力に近い第2の擬似負荷手段と、前記電源の電圧の測定の結果、前記電源の電圧が所定値より高い場合には、前記第1の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測し、前記電源の電圧が前記所定値以下の場合には、前記第2の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測する予測手段とを含む。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明のバッテリーチェック方法は、電源から電力を供給して実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するに際して、第1の擬似負荷手段と、前記第1の擬似負荷手段より消費電力が大きく且つ前記実負荷手段の消費電力に近い第2の擬似負荷手段とを用い、前記電源の電圧を測定するステップと、前記電源の電圧の測定の結果、前記電源の電圧が所定値より高い場合には、前記第1の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測し、前記電源の電圧が前記所定値以下の場合には、前記第2の擬似負荷手段を用いて、前記実負荷手段を駆動したときの電圧降下を予測するステップとを含む。